

2024年5月

現勢・生物 No.28

けんぱくものしりシート

さん

りく

かい

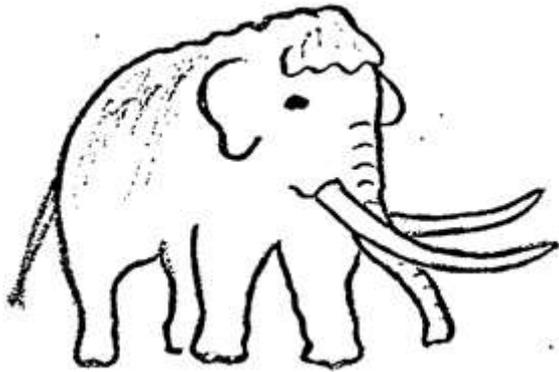
がん

三

陸

海

岸



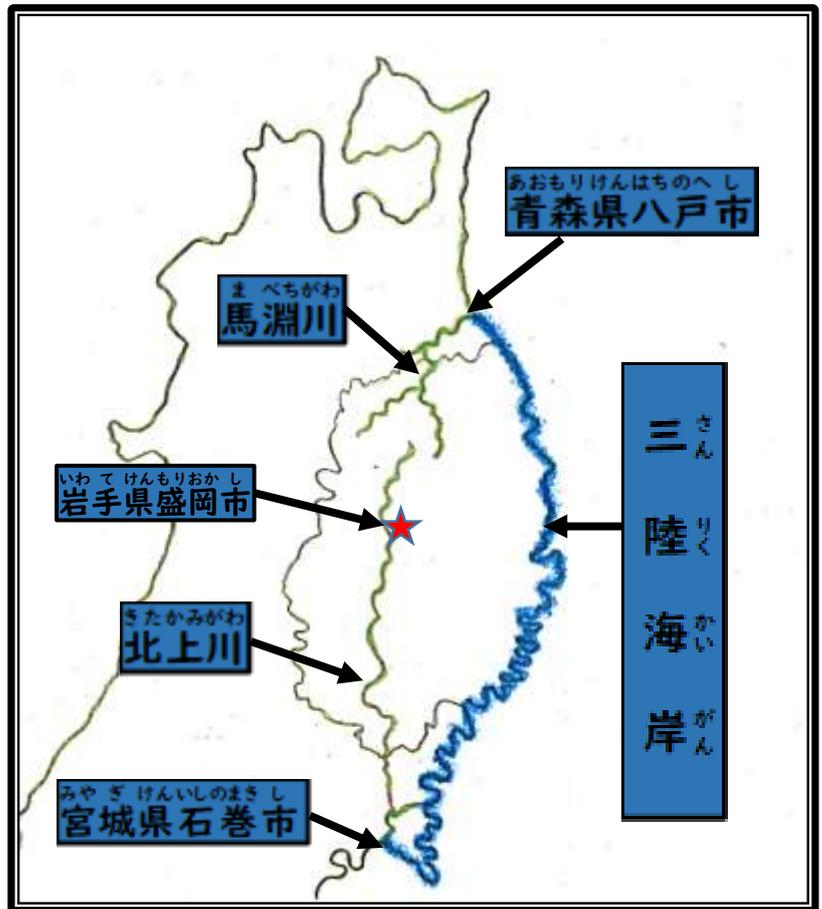
わしは今から 2万年ほど前、岩手県の南のはしの一関市花泉町でくらしていたナウマンゾウじゃ。

岩手県の3分の2ほどを占める北上山地。そのはじまりは5億年以上も昔にさかのぼり、日本の中でも特別に古い歴史がある。

今日は、そんな古いおいたちの北上山地の東のはしっこ、太平洋に面する三陸海岸についての話じゃ。

三陸海岸は、青森県八戸市から宮城県石巻市まで、その距離およそ600km以上にもなる。

砂浜は少なく、ほとんどが岩でできていて、人の手があまり加わっていない自然のままの海岸なんじゃ。ここは、美しい風景や、ウニやホタテ・ワカメなどの豊かな海の幸など、たくさんの魅力にあふれているんじゃよ。



とうほくちほう さんりくかいがん 東北地方と三陸海岸



いわ なみ すこ
岩が、波に少しずつ
削りとられてできた、
だんがいぜつべき みや こし きた
断崖絶壁！ 宮古市より北でよ
くみられる。なかでもたの はたむら
きたやまざき
の北山崎はとても有名じゃ。



にほんじゅう いま あいつ きょうりゅう か せき はっけん
日本中で今も相次ぐ恐竜化石の発見。そのいち
ばん最初は、なんと三陸海岸なんじゃ。1978（昭和
ねん いわいずみちようもし かいがん くび なが しよくぶつしよくきょう
53）年、岩泉町茂師の海岸で首としっぽが長い植物食恐
りゅう
竜『モシリユウ』の化石が見つかった！ およそおく せんまん
ねんまえ きょうりゅう
年前の恐竜じゃ。



みや こし みなみ ほう い く ふくざつ かがん
宮古市よりも南の方は、入り組んだ複雑な海岸
せん
線がつづく。ここには、そとうみ
外海にくらべて波がおだや
い え
かな入り江がいくつもあって、ワカメやカキ・ホタテなどの
ようしよく さか
養殖が盛んなんじゃ。



しおかぜ かいすい つよ ひ ざ て かがん
潮風や海水にさらされ、強い日差しが照りつける海岸は、
しよくぶつ かんきょう ぼ しょ
植物にはきびしい環境じゃ。そんな場所でもたく
い
ましく生き
るハマギクは三陸の
さんりく
いたるところで見ら
れる。あき お
秋の終わり、
いわはだ うつく はな さ
岩肌に美しい花を咲
かせるハマギクは、ま
さんりく かがん だいひょう
さに三陸海岸を代表
しよくぶつ
する植物じゃ。



引用・参考 いわて けんりつはくぶつかん 2021年 『みる！しる！わかる！三陸再発見』

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン

岩手県立博物館
〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館 検索

HPにてバックナンバー公開中！

けんぱくものしりシート

『三陸海岸』

2024年5月発行 現勢・生物—No.28

■参考文献

- ・ 岩手県立博物館 2021年 『みる！しる！わかる！三陸再発見』